



かどっぴー・がわっぴー

# ふれあい

## 本年度から3か年間、県の指定を受けて、一層の学力向上に取り組めます！

門川町では、これまでも大切な課題として「学力向上」に取り組んできましたが、本年度、県の「宮崎の子どもの学力を伸ばす総合事業」の中の「基礎学力定着指導実践推進地域」の指定を受けて、平成26年度～28年年度のあいだ、地域をあげて「学力向上の実践研究」に取り組めます。今月は、その計画や勉強時間と学力の関係についての情報を紹介します。

### 目標1 基礎的・基本的な内容の 確実な定着を目指します！

読み・書き・計算などの知識や技能だけでなく、思考力、判断力、表現力などの基礎・基本をしっかり身につけさせ、活用する力、探求する力を育てます。

### 目標2 自ら学ぶ、学習習慣づくりを 目指します！

学ぶことの大切さに気づかせたり、学習方法をしっかり教えたりする指導をとおして、生涯にわたって学び続けるための基礎となる学習習慣を育てます。

## そのために取り組むこと

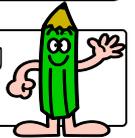
### 学習計画や学習内容を見直します！

週や月の学習計画を見直して、朝や業間に読書やドリル学習の時間をもうけるなど、学力向上につながる取組を工夫します。

授業の中に体験活動や問題解決学習を取り入れるなどの工夫をして、自分で考え、判断し、行動する力を育てます。

少人数指導や複数教員による指導を工夫して、一人ひとりの実態に応じた指導に取り組めます。

目標を達成するために、3つの大切なことに取り組めます。



### 学習指導を工夫・改善します！

学校では、授業の終わりにしっかり振り返りを行って、何ができていて、何ができていないのかを確認し、補充指導や個別指導を行うなど学習指導を工夫・改善します。

家庭では、授業での振り返りをもとに、宿題や復習を確実にを行うように子どもに声をかけ、やる気と自信をもたせましょう。学校は、そのために家庭学習の方法や工夫についての指導・支援を行います。

### 家庭や地域と協力して取り組めます！

望ましい学習習慣を育てるために、家庭や地域と協力して、テレビを消して10分間の家読（家庭での読書）を実践したり、携帯電話やスマホ、ゲームなどのルールをつくらしたりするなどの活動に取り組めます。

新原教育長は、「すべての関係者が、学力向上の意識をしっかりとって取り組めば、必ず実現します。将来の子どもの姿を思い浮かべながら、みんなでがんばりましょう。」という言葉を送っています。子どもの将来をひらくカギである学力向上は、門川みんなの願いであり、合言葉でもあります。

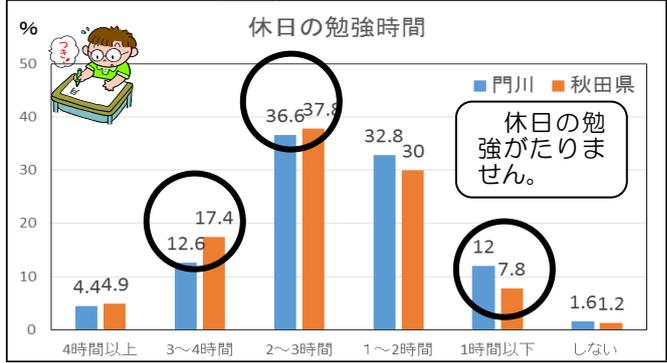
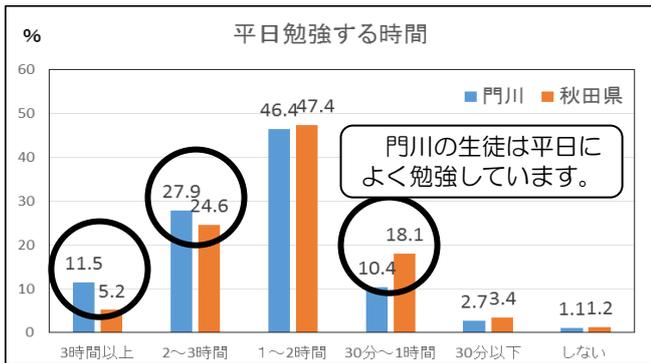


# 学力向上は、休日の勉強がカギです！

秋田の子どもは休日の勉強をがんばっている！

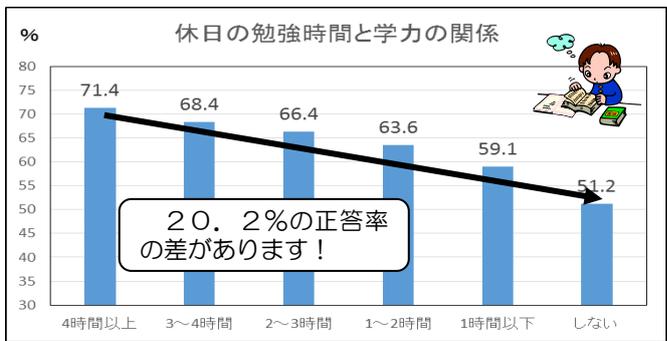
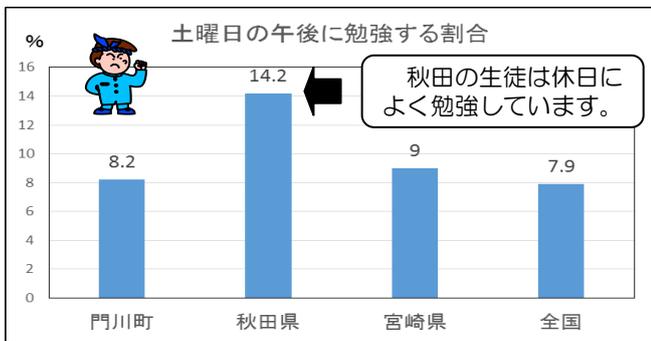


門川町と秋田県の勉強時間を比べてみました。(25年度全国学力調査 中学3年生結果)



門川の生徒は、学力日本一といわれる秋田県の生徒に比べても負けなくらいに、平日はよく勉強しています。平均して、約2時間の勉強時間です。

しかし、土曜日や日曜日などの休日になると秋田県の生徒の方がよく勉強しているようです。門川の生徒の休日の過ごし方が課題になるようです。



土曜日の午後に勉強する生徒は、秋田県が飛び抜けて多くなっています。門川の生徒の約50%は、土曜日の午後は外で友達と遊んでいる、と答えています。

休日に勉強する生徒と勉強しない生徒では、学力調査において約20%の正答率の差が出ています。平日に勉強する場合と比べて、約5%差が大きくなっています。

## 教育研究所からのメッセージ

学力日本一といわれる秋田県の生徒は、休日にもしっかり勉強しています。秋田県の生徒は、家庭学習で、休日は勉強をしない、という例外をつくらずに頑張っていることがわかります。平日は、睡眠時間の関係などもあるために、十分勉強ができない面があります。その分を休日にしっかり補うことで、秋田県の生徒は確かな学力を身に付けています。

## 子どもの教育や子育てで、悩んでいませんか？

困った時には、教育相談室に気軽に電話をしてください。

相談電話 (門川町教育相談室)  
63-1566

~~~~返信欄 (教育研究所便り「ふれあい」へのご意見や感想をお聞かせください。)~~~~